

(書式 3)

全教科についての指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	美術	教科主任 河内 智香子
-----	----	-------------

1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

<第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・全体的に美術に興味・関心をもっている生徒が多いが、技術的な能力は低い。そのため、技法や表現方法の基本をしっかりと指導する。・色を混色してつくることが苦手としている生徒への対応を検討する必要がある。	<ul style="list-style-type: none">・ICTの活用を積極的に行い、混色の仕方、楽しくアイデアを出せる指導を授業に取り入れる。・個々の良さを褒め自信をもたせる。・色見本を利用して、色をつくる力の優劣を感じさせない、取り組みやすい活動にすることで、他者と自分のとらえ方の違いに素直に気付かせる。	<ul style="list-style-type: none">・基礎的な技法を含めながら、発展的に取り組めるよう、自主課題の活用で、イラストに親しむ時間を増やし、自宅での学習習慣を付けるための支援をする。・昼休みに作品制作の補充授業を実施する。

<第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・技術的な基礎能力は、定着してきている。しかし、発想や構想の能力の成長が不足している。	<ul style="list-style-type: none">・アイデアスケッチの段階で、図書室の利用や図書館から借りた資料に多く触れる時間を作るようにし、いろいろな角度から発想しやすい環境を作るようにする。	<ul style="list-style-type: none">・一つの単元の指導時間に余裕をもたせ、生徒の立場から見て難しい部分を見極めた上で、苦手な分野の補充指導を行う。・昼休みや放課後に作品制作の補充授業を実施する。

<第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・昨年に比べ、制作意欲が高くなり、集中して制作できる生徒が多くなった。・1学期の課題として行った立体的デザインの中なかで、基本的な透視図法の造形方法や彩色に関して、理解に差があるため、個々への指導時間に差が出てしまった。また、アイデアスケッチに多くに時間をかけてしまったことで、制作時間が不足しているという意見があった。	<ul style="list-style-type: none">・今後は、アイデアスケッチの段階で補習を行うなどし、全体の活動時間を少しでも多く作れるようにしていく。・できるだけ多くの参考作品を提示し、主体的に自己の目標が決められるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・生徒が自信をもって色や形、材料を「試す」ことができるようにする。・昼休みや放課後の自習課題を勧め、試行錯誤の活動を促し、苦手な分野の補充指導を行う。